

学校現場からの声 ④

# わたしたちのリアル ～中学校教員の一日～

さんだいじ  
三大寺

けいこ  
徑子

●日本教職員組合 中央執行委員

## 1. 朝の始まり

朝の打ち合わせを終えた担任は教室で生徒の登校を待ち、その他の教員は玄関口などで登校中の生徒に声をかける。

私は担任ではないので、玄関口で待つ。「おはようございます。」登校する生徒の反応はさまざま。声の返ってこない生徒の背中を見送り、遅刻の生徒を待つ。上靴の残った下駄箱を見て、「今日は休みか？」と欠席連絡を確認する。連絡もなく、姿のない生徒がいれば家庭連絡で確認。心配な生徒がいれば担任に知らせ（メモでの伝達が多い）、1時間目の授業の教室に向かう。職員室を出て、各学年のフロアーを回り、職員室に戻るまで約20分。それから1時間目の授業のために教室へ。

ここからは授業ごとに教室を移動。同じフロアーをスライドするときもあれば、フロアーを上り下りすることもある。日によっては空き時間があるが、1～4時間目までぶっ通しの授業のほうが多い。4時間目が空いているときは、給食を早めにいただき、4時間目が終わるころには担当学年

のフロアーへ。配膳室で給食当番を見守り、廊下で生徒の対応。給食当番をすっぽかしている生徒には指導の声をかけ、廊下でじやれている生徒には「危ないよ」や「気をつけて」と注意喚起の声かけをする。

## 2. わたしたちの食事中は休憩時間？

給食の配膳を終え、どのクラスも食事が始まったころに別室登校の生徒の給食を届けに行く。担任以外の学年担当教員で分担して届ける。4時間目が空いていないときは、これからが食事の時間となる。食べ始めて間もなくチャイムが鳴り、昼休みが始まる。急いで配膳室を見に行く。給食の後片付けで配膳室は混乱している。整理をして入れてくれる子もいるが、乱雑に放置されることもある。だから教員がそばにいないといけない。昼休み終了の予鈴が鳴ったら、生徒が教室に戻るように見守りと声かけ。そして、5時間目の授業の教室へ。あれ？お昼の休憩時間あったかな？

午後の授業が終われば、清掃指導、部活動指導。多くの生徒が部活動に所属しているため、教職員全員に顧問を割り当てる。部活動の終了時刻は17

時45分。勤務時間を1時間も超えている。ノ一部活デーは水曜日だけ。日没時間が早くなると部活動もそれに合わせて早く終わるが、定時に帰れたためしはない。

さて、ここからが本日の業務の始まりとなる。授業の振り返り、小テストやノート等の点検、翌日の授業の準備など、その日のうちに済ませておく必要のある業務を片付けないと、翌日を迎えられない。この業務こそ教員として大切にしたいのに、こってりと時間をかければ2〜3時間はかかる。退勤時間は当たり前のように19時〜20時。勤務間インターバルが11時間？その前に休憩時間を確実に保障してほしい。朝8時前に出勤して夜8時ごろに退勤。その間休憩はほぼなし！12時間フル稼働。もうくたくた。

### 3. 学級担任のリアル

担任はもっと大変だと思う。空き時間には生徒たちから預かった生活ノートを見て、ノート上でもコミュニケーションを図る。普段の生活の場面でたった10分の業間の時間に図れるコミュニケーションなどほんのわずか。40人の担任であれば、言葉を交わせない生徒がいることも否めない。生活ノートはそんな生徒たちと落ち着いてコミュニケーションを図るものとして続けている。4時間目の授業が終われば担任は教室に戻り給食準備の指導。食事の時間はたった10分。担任は職員室に戻って、生徒の生活ノートをその日のうちに返却するために準備する。16時過ぎから放課後であるが、部活動の終了までは休めない。活動終了のチャイムが鳴ったら下校指導（校門や通学路で生徒の見送り）。職員室に戻ってきたときには勤務時間を1時間以上超えている。「トイレに行くヒマなかったよ〜。」ほんのちょっと職員室でホッと

したときに交わす同僚との会話。「何も起こりませんように」と祈ってから（笑）教材研究。でもイレギュラーなこともいっぱいある。

### 4. 教員不足は解消されず、疲弊によりさらなる病休者が

最近、現場では非常勤講師の先生が増えた。教科の授業のみの担当で、授業時間にも制限がある。打ち合わせをしたいと思っても時間が取れない。

（時間外に無償で打ち合わせに応じてくださっていたりすることが年に2〜3回。これはよくない。）

しかも今、教員不足で4月に定数が揃いきっていないまま始業を迎える学校がたくさんある。誰もがギリギリの状態。「私が休んだら、みんなに迷惑がかかる。」と必死に体調を整えて働いている。無理がたたって現場で倒れた人もいた。妊娠がわかった先生が管理職に相談しても「おめでとう」という温かい言葉より「代わりの人見つかるかなあ」というつぶやきのほうが大きく伝わり、後ろめたさを感じながら産育休に入られた。本当にこれが正常な職場なのか？でもそれがリアル。

### 5. 部活動、大会やコンクールの集合時間は？

土曜日、日曜日は本来休みであるが、ほとんどの部活で活動している。だいたい3時間程度だが、大会やコンクール前には時間延長もある。私は運動部顧問だったので、大会当日は7時前に集合し、大会会場まで引率していた。（8時15分が勤務開始時刻ですよ。）新型コロナ感染症拡大予防のため、簡素化されてきた運営も以前の形に急速に戻ってきた。1日の大会を終えた時には16時半。

（いや、もっと遅くなる人もいる。）また勤務時

間を超えた。このような働き方は持続可能じゃないなあ。

## 6. 生徒に任せていなかった

私のリアル（学年担当）、担任のリアルをまとめていて、たくさんの疑問がわいてきた。見守りという名の監視か？もっと生徒に任せればいいのに、それができていないのはなぜだろう？これが生徒主体の学校生活なのか？

トラブルの未然防止は大事だと思うが、生徒の力をもっと信じよう。「よかれと思って」先回りしていることも多いように思った。もしかして、生徒の成長を妨げているかも。

今から急に見守り方を変えるのは難しいが、少しずつでも任せられることは任せ、離れたところから見守るのはどうか。手放すことへの不安もあるが、距離をとって広く見守ることで見え方が変わるかもしれない。私の意識を変えることも大切だと気づいた。